

>> 第1節 be 動詞

テーマ3

「彼女らは～です」の文

例文 They **are** junior high school students. 「彼女たちは中学生だ」
彼女たちは+～である+中学生

主語 + be 動詞 + 補語



拙者もこの図体で中学生でござるよ。ど^{ずうたい}ん^{のり}ど^{のり}ん罵^{のり}って^{のり}くださ^{のり}れ。

■ 今回は**主語**が**複数**のケースを学んでいきます。形は、今回も **主語 (名詞) + be 動詞 (+～.)** を用います。

例文 They **are** junior high school students. 「彼女たちは中学生だ」
↓S ↓V ↓C

They are ～. 「彼女らは～です」

■ 今回主語に用いる **“they”** は、「**彼(女)らは** ; **それらは**」を意味します。**主語が複数**のとき、be 動詞にはつねに **“are”** を用います。



“a student” だと「(ひとりの) 生徒」だけど、“students” だと「生徒たち」の意味で複数になるのよ。複数形はふつう、名詞の語尾に“-s” をつけるのよ。

■ **“they”** は「**彼らは** ; **彼女らは**」という意味で、「彼は」“he” や「彼女は」“she” の複数の意味します。また、「**私たちは**」**“we”** / 「**あなたたちは**」**“you”** / 「**これらは**」**these** / 「**あれらは**」**those** を用いて、We are ～. 「私たちは～です」や、Those are ～. 「あれらは～です」と表現することもできます。主語が複数の場合、be 動詞にはつねに **“are”** を用います。



例文 を出しておくから早くコンプリートしなさいよ。

例文1 These **are** her goods. 「これらは彼女のグッズだ」
↓S ↓V ↓C

例文2 We **are** brother and sister. 「俺たちはきょうだいだ」
↓S ↓V ↓C

■ すべての文の be 動詞が **are** になっていることが確認できますね。「**私たちは**」「**あなたたちは**」「**彼(女)らは**」「**これらは**」「**あれらは**」など、主語が複数の場合、be 動詞には“are”を用います。短縮形も併せてまとめると、次のようになります。

◆ 「○○は××です」の表現

• I am ～.	= I'm ～.	「私は～です」
• You are ～.	= You're ～.	「あなたは～です」
• He[She] is ～.	= He's[She's]～.	「彼(女)は～です」
• This is ～.		「これは～です」
• That is ～.	= That's ～.	「あれは～です」
• We are ～.	= We're ～.	「私たちは～です」
• You are ～.	= You're ～.	「あなたたちは～です」
• They are ～.	= They're ～.	「彼(女)らは～です」
• These[Those] are ～.		「これ[あれ]らは～です」



“This is ～.” と “These are ～.” “Those are ～.” は短縮しないで。主語によって、後ろの be 動詞は変わるんだ。

>>> **確認するわよ!** () 内に適する語を入れましょう。

解答⇒p.174

- 彼女たちは私のクラスメイトよ。
() () my classmates.